

(様式2)

# 学校関係者評価報告書

上浮穴高等学校

評価実施日			
委員	氏名	所属等	備考
	正岡 健司	(一社)久万高原町観光協会事務局長(学校評議員)	
	大野 盛隆	久万広域森林組合 代表理事組合長(学校評議員)	
	白川 真理	久万こども園 園長(学校評議員)	
	中川 茂俊	久万高原町教育委員会 事務局長(学校評議員)	
	高山 哲也	久万高原町商工会 会長(学校評議員)	
	菊地 孝昌	久万高原町教育委員会 学校教育指導員	
	伊藤 孝平	三愛スポーツ 代表	
	重藤 博文	高齢者総合福祉施設 久万の里 施設長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 義務教育から高校までの12年間の一貫体制 ・生徒に久万高原町の魅力を感じてもらえるような取組(既に実施されているかもしれませんが。)があればいいと思います。農林業以外にも、エッセンシャルワーカー(福祉・医療等)も、持続可能な社会のために大切なものであるため、ぜひ前面に出し、幼稚園や高齢者福祉施設等でボランティアをしてもらう取組はいかがでしょうか。 ・高齢者施設に入所している方々の意見を聞いてもらいたい。</p> <p>(2) 学校生活について ・第10回くままちひなまつりの準備に際し、多大なる協力をいただき、地域行事に関わっていただいたことに、お礼を言いたい。 ・夕方、町内を歩いている時、生徒さんはよく挨拶してくれます。 ・生徒は笑顔で挨拶がよくできており、町内を歩いているだけで華やかさあり、こちらも元気がもらえる。</p> <p>(3) 地域との交流の充実 ・久万こども園と上高の芋掘りの時の生徒たちの子どもの対応が、とても優しく、丁寧で感心しました!!と、久万こども園スタッフから聞きました。いつもありがとうございます。</p> <p>(4) 防災士の資格取得について ・本年度、20名以上の生徒の皆さんが防災士の資格取得に挑戦し、地域に貢献してくれた。高校生のうちに役立つ資格を取ってほしい。</p>	<p>・本校、森林環境科では、以前から地域との連携のもと、保育園・小学校等との交流学习、地域を題材にした研究活動、地域行事への参加、実技研修・見学等を行ってきたところである。さらに、昨年度からは、普通科において総合的な探究の時間(くまたん)が実施されるようになり、現在、学年進行とともに、段階を追ってより深化させながら、地域を題材にした取組を深めているところである。今回の貴重な御提案をもとに、地域の関係機関等と連携を図りながら、さらに、地域に根差した取組を行っていきたい。</p> <p>・校外に出ていく機会が増えるにつれ、生徒たちも地域の方々と触れ合う機会が増しているように感じている。昨年度からは、おひなさまつりの準備・片付けにも携わるようになったが、町内の皆様全体で、生徒たちを育てていただいているという感覚を持っている。校内でできない部分は、地域の教育力を十分に活かしながら、お互いに連携を取り、生徒の健全育成に努めていきたい。</p> <p>・こども園、幼稚園、小学校、中学校等との交流学习は、生徒たちも大変楽しみにしている学習の一つである。生徒は、事前に学習した内容をしっかり理解し、自分の中でわかりやすくかみ砕き、相手に丁寧に説明することで、生徒の意識も高まります。学校外の方々から、お褒めの言葉をいただく中で、生徒はさらにやる気がわいてくるのではないのでしょうか。また、普段、学校内では見せない姿を見る中で、教員側も、生徒のいい面を見つけることができているように思います。</p> <p>・高齢化が進む久万高原町において、自分たちの住む町の防災について真剣に考える機会があることは大変ありがたい。町からの御支援のもと、防災士の資格に挑戦させていただいていることには感謝しかない。本校の学校規模において、本資格に挑戦しようとする好循環が生まれつつある。資格取得は自信にもつながるものであり、ぜひ、継続した取組としていきたい。</p>